

とらいの山甲から

たいぶさみさき

大房岬自然公園ニュースレターNo.87

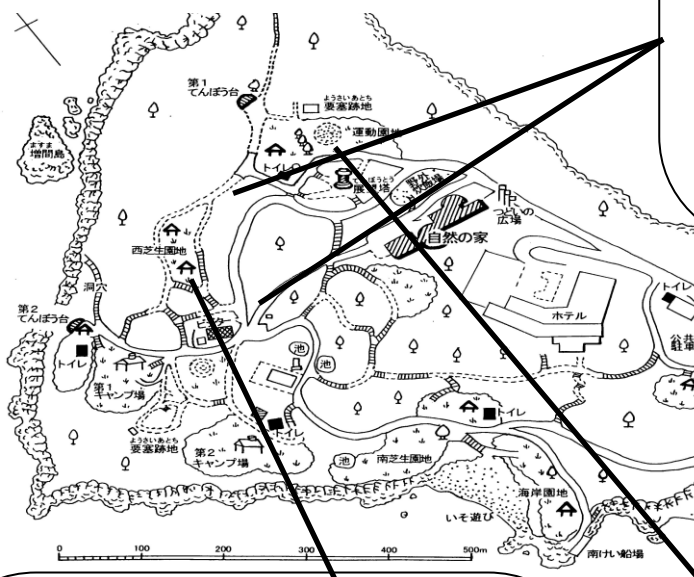
2014年
4月



春本番となり、大房岬の生き物や植物がいきなり起き始めました。3月の終わりから4月の初めにかけては桜も見ごろとなります。ぽかぽか陽気の中、大房岬にお散歩に来ませんか？

たいぶささんぽ

春は出会いと別れの季節。今月号では春に見られる生き物と去っていく生き物をご紹介します。



お歯黒の代用品

～エノシマキブシ～



大房岬のいたるところで「エノシマキブシ」が咲き始めました。昔、お歯黒に使っていた虫こぶ「ふし」の代用品として「キブシ」が使われていたようです。

口をつぐむ

～ツグミ～



渡り鳥である「ツグミ」は春になると去っていきます。冬の間はよく聞こえていた鳴き声が春になると口をつぐんだように聞こえなくなることが、名前の由来です。

紫色の妖精

～スミレ～



春の訪れを感じさせてくれるのがこの「スミレ」です。西芝生園地の片隅でひっそりと咲く姿は、まるで春の妖精のようです。

裏面では自然公園レンジャーイベントとGWイベントをご紹介します。 →→→→→